

スプリング・エフェメラル

春の妖精たち

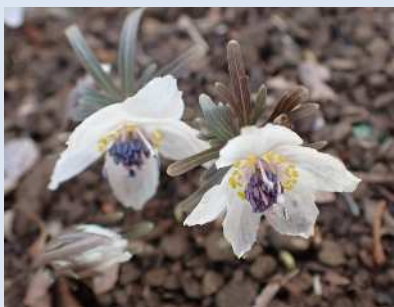


フクジュソウ

春の初め、山のふもとや里山の林などに真っ先に姿を現す花や昆虫たちのことをスプリング・エフェメラルといいます。日本では「春の妖精」、「春植物」とも呼ばれ、地上生活がとても短い多年草のことをいうことが多いです。

落葉樹の林では夏場は木々が茂るため地面が暗くなり、根元の小さな植物には光が当たりにくくなります。これらの植物は、このような環境に適応するために、木が生い茂る前の1か月または2か月弱の短い期間だけ葉を広げて光合成をして栄養をつくとともに、花を咲かせ実もつけます。そのあと地上部は葉っぱごとスーッと消えるようにほとんど何も残りませんが、地下に球根などが残って翌年の春に備えます。

キンポウゲ科



セツブンソウ



ユキワリイチゲ

ユリ科



アマナ



バイモ

ケシ科



ヤマエンゴサク



ジロボウエンゴサク